みんなのダンスフィールド

のはらぐみ

第3回 パフォーマンス

のはらのすみっこ・
せかいはどまんなか

IMAホール（光が丘）

2018.9.16（日） 開場 **14:00** 開演 **14:30**

高鳴り、誘いかけ、揺さぶられ、

小さな命たちが幾重にも結びついて

のはらの1番地を跳びだした

はるかに広がる青のなか

眺める個性はどれも

この地球のど真ん中

出演

みんなのダンスフィールド「のはらぐみ」3期

伊藤菜月・海老沼寛乃・大川日向子
大谷野の子・船山智世・若水麻晃子

みんなのダンスフィールド

チケット

大人：2,000円

中学・高校生：1,500円

小学生以下（3歳以上）・介助者：1,000円

席数に限りがございます。お早めにご購入ください。

購入・お問い合わせ

「みんなのダンスフィールド」（担当スタッフ：大谷）
電話番号 ： 080-4204-4612
メールアドレス ： danceticket@excite.co.jp

構想･共創表現ファシリテータ ： 西 洋子／「のはらぐみ」3期
主催 ： NPO法人みんなのダンスフィールド
（Inclusive Field for Dance since1998）
制作 ： 西 洋子／村中亜弥（みんなのダンスフィールド）
舞台監督 ： 今井 聡　照明 ： 宮田正芳　音響 ： 高橋秀雄
チラシデザイン ： 渡部 健

助成 ： アーツカウンシル東京
（公益財団法人東京都歴史文化財団）
ARTS COUNCIL TOKYO

［写真］のはらぐみ第2回パフォーマンス「へのへのっぱら一番地」(2018)、第12回みんなのダンスフィールド ライブパフォーマンス「○+ノート」(2017)

「のはらぐみ」

2015年10月に結成。「みんなのダンスフィールド」でインクルーシブ・ダンスの更なる探求を目指すメンバーが集い、厳しく柔軟に身体表現を模索するユニット。他者と共に創ること、コミュニティと出会うこと・つながることを基軸に、個々の持つ“生き生きとした表現”を引き出すことを目指して今期は作品のファシリテーションにも挑戦。

NPO法人 みんなのダンスフィールド

(Inclusive Field for Dance since1998)

年齢や性別、障害の有無をこえて、身体での共創表現の実現を目指すグループ。

1998年に6人の子どもからはじまり、定例活動を中心に、学校や施設、コミュニティと連携したワークショップを各地で開催。現在のメンバーは4歳から70代までの約40名。2020年に向けて、手と手をあわせることから表現がはじまる、自由で創造的な交流「てあわせ・のはら」ワークショップを積極的に展開。

「のはらぐみ」3期　2018年4月～

伊藤菜月・海老沼寛乃・大川日向子・大谷野の子
船山智世・若水麻晃子

「のはらぐみ」2期　2017年10月～2018年3月

佐藤夏希・海老沼寛乃・大川日向子・大谷野の子
笠井裕生・加藤芳史・木津石生・桐 弘明・小西 光
千葉 遥・船山智世・マリヤム

みんなのダンスフィールド

石山小夏・海老沼さとみ・大江佑実・大川明子
大谷久美子・笠井美保・加藤里菜・加藤朋代
清原 環・小林伸行・坂本恵美・千葉瑞枝
船山日向・三木由美子・三輪敬之・村中亜弥
村中未來・山口和馬・山下マスミ・山谷水蓮

ディレクター：西 洋子（東洋英和女学院大学教授）
コーディネーター：村中亜弥、大谷久美子
スタッフ：船山智世、大谷野の子、大川日向子

活動日（原則として）　月2回（第2･4日曜日）

活動場所　戸山サンライズ体育館
（全国障害者総合福祉センター・新宿区）

メールアドレス dance.field.staff@gmail.com
ウェブサイト https://www.inclusive-dance.org/

会場アクセス

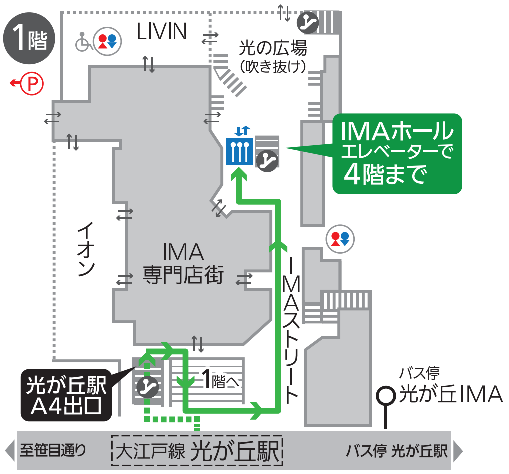
IMAホール

〒179-0072 東京都練馬区光が丘5-1-1（4階）
電話番号 03-3976-2000
http://www.ima-hikarigaoka.jp/imahall/

QRコード読み取り機能のある携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、左記のQRコードを読み込み、「IMAホール」のウェブサイトにアクセスしてください。

電車でご来場のお客さま

都営地下鉄大江戸線「光が丘駅（A4出口）」すぐA3出口エレベーターより地上階に出て、イオンまたは中央館のエレベーターに乗り換え4Fへ

車でのご来場のお客さま

光が丘IMAショッピングセンターの駐車場（中央館、東館、南館）をご利用ください。ホール専用の駐車場はございません。